



チャレンジドフェア2014

Topics

- 2 医療功労賞受賞の新聞掲載記事のお知らせ

代表理事コラム

- 3 「公益法人設立にあたって」
4 公益社団法人 愛知県理学療法士会
部局だより

NPO 法人 愛知県理学療法学会だより

- 8 NPO 法人 愛知県理学療法学会
部局だより
9 理学療法学会大会発表への道
—スライド作成から演題発表—
10 愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会主催
の研修会・その他の研修会

Topics

2014年2月3日(月) 付の読売新聞(名古屋圏)に

医療功労賞受賞者の「喜びの声」が掲載されました。



松野 俊次さん 59
豊田市こども発達センター
副センター長

幸田町出身。早稲田大在学中のボランティア活動で、脳性まひで障害のある10歳代の若者と出会い、懸命に生きる姿に心を打たれたのがきっかけで、理学療法士になった。

障害児総合支援に情熱

尽力。豊田市に通園センターをつくる構想が出て、関係者の薦めで92年に同市に移り、障害児の療育システムの策定や専門職採用に関する。96年に「市こども発達センター」としてオープンさせ、運営に携わってきた。2005年から同センター内にある肢体不自由児の通園施設「たんぽぽ」の施設長となり、12年からは副センター長にも就いている。「今回の受賞で障害児への医療が注目されるのであればうれしい。どんな障害のある子にも、砂漠のオアシスのようにほっとして帰っていただける場所でありたい」と生活の総合支援に情熱を注ぎ続けている。

代表理事コラム

「公益法人設立にあたって」

公益社団法人 愛知県理学療法士会

代表理事 鳥山 喜之

愛知県理学療法士会は、新たに平成26年4月1日をもって「公益社団法人」となりました。

法人の社会的存在として、最低限の法令遵守や社会的貢献といった責任を果たすだけでなく、住民や地域、社会の顕在的・潜在的な要請に応え、より高次の社会貢献や配慮、情報公開や交流を自主的に行わなければなりません。そのためには、事業目的を明確にし、健全で継続した法人の運営に心掛けなければなりません。

公益法人は、営利を目的とせず、公益を目的に積極的に不特定多数のものの利益の実現を行い、また、法人関係者(役職員、会員等)のみの利益を目的としてはならない法人です。公益目的事業とは、「学術、技芸、慈善その他の公益に関する事業で、不特定かつ多数の者

の利益の増進に寄与するもの。」と定義されています。

我々は、急性期病院やリハビリテーション病院を初め、介護老人保健施設、訪問看護ステーションから、地域医療・介護を提供する事により、「人間の生き方や社会と深く関わる」仕事をしています。また、障害児、障害者の社会参加や地域の人々がもっと元気で長生きできる社会を作れるよう社会活動することも重要なことです。

また、当士会の公益事業は社会局の事業として下記事業があります。各部署の部員だけでは事業は運営できません。今後とも会員皆様のご理解と、ご協力を何卒お願いいたします。

事業部	事業内容1	事業内容2	公益目的事業区分
社会部	保健福祉活動	ウェルフェア事業 市民公開講座	体験活動 主催公演
健康福祉部	高齢者・障害者社会参加促進事業 地域健康予防事業 障害予防教育推進事業	風船バレーボール県大会 健康フェア等への参画、協力 スポーツ障害予防講座の開催	主催公演 相談・助言 相談・助言
小児福祉部	小児領域地域リハビリテーション連続講座 こどもの福祉機器展(チャレンジドフェア)		講座・セミナー・育成 展示会、〇〇ショー
広報部	理学療法週間事業 広報誌発行 パンフレット作成	事業の広報、進路相談 啓蒙活動	キャンペーン、〇〇月間

代表理事会務報告(平成26年1月1日～平成26年2月28日)

- 1月 11日(土) あいち福祉医療専門学校教育編成委員会(あいち福祉医療専門学校)
- 13日(月) 日本理学療法士協会組織運営協議会(東京)
- 14日(火) 地域医療再生に関する多職種連携協議会(愛知県医師会)
- 25日(土) 愛知県理学療法士会理事会
- 2月 4日(火) 地域医療再生に関する多職種連携協議会(愛知県医師会)
- 23日(日) 地域包括ケア推進に関する講習会(東京)



職能局 **業務推進部**
部長 石田 悦二

新入会員の皆さん、ご入会おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

新年度を迎え会員の皆様の職場においても、診療報酬改定への対応や新職員の入社など慌ただしい一ヶ月だったのではないのでしょうか？ 毎回のことながら、早く通常のペースに戻しつつ今年度も前向きに元気に業務に取り組んでいきたいですね。

さて、平成26年度業務推進部主催研修会を以下の予定で企画しております。

	内容	講師	時期(予定)
第1回	理学療法(士)を語る	鳥山 喜之先生	平成26年 6月頃
第2回	損害賠償、損害保険	未定	平成26年 11月頃
第3回	地域包括ケアシステム	藤田 正之先生	平成27年 2月頃

詳細は今後、士会ニュース・士会ホームページ等でお知らせいたします。その際は奮ってご参加ください。

部員一同、会員皆様のお役に立てるような運営に努めていきますので、今年度もよろしく願いいたします。

職能局 **保険部**
部長 岡 季子

今回の診療報酬改定では、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実などに取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築が図られました。会員施設においても病床・病棟再編(検討)が行われ、慌ただしい日々を送られていることと思います。社会保障と税の一体改革「医療と介護のサービス提供体制改革」の始まりにより医療現場に限らず介護現場においてもその影響は少なくありません。保険部では改定後の影響調査を秋頃予定しております。業務多忙の折、お手数をお掛け致しますが、ご理解とご協力の程宜しく願い申し上げます。

社会局 **健康福祉部**
部長 荒谷 幸次

我々理学療法士は、通常業務に留まらず、地域の保健、福祉、健康増進・教育に貢献していくことは、非常に重要な役割です。

健康福祉部としては、今年度も本地域のスポーツ選手指導者、地域在住の高齢者や障害者、またリハビリテーションに関わる多くの職種の方々に、少しでも貢献できるような活動を継続していく予定です。昨年度の報告と今年度事業予定です。

各事業の詳細は、追って県士会ニュース、HP等でお知らせ致します。ご興味ある会員の方はぜひご参加下さい。今年度も会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

❖ **高齢者および障害者社会参加促進事業**

隔年で「愛知県風船バレー大会」を開催しています。前回平成24年度も参加者の多くの方々から好評を頂き、今年度は9月16日(火)日本ガイシホールで開催が決定しました。スポーツを通じ、高齢者や障害者の方々の機能改善や社会参加を促すことが目的です。

現在、開催準備を進めています。大会スタッフへのご協力が必要となります。スタッフ募集に関して、6月頃(予定)各施設へご案内致します。ぜひ、ご協力をお願い致します。

*新人教育プログラム「士会活動・社会貢献」申請予定

❖ **健康増進事業**

今年度も「半田市セカンドライフフェスティバル」に参加し、一般市民の体力チェック、運動指導を行います。昨年度は11月に実施致しました。今年度も秋に開催予定です。

ぜひご協力をお願い致します。

*新人教育プログラム「士会活動・社会貢献」申請予定

❖ **地域サービス推進事業**

今年度も地域のリハビリテーションに関わる方々を支援する研修会を実施する予定です。理学療法士に限らず、他職種の方々にも有意義な研修会にしたいと思っています。

*新人教育プログラム「地域リハビリテーション」

および履修ポイント「生活環境支援」申請予定

昨年度のテーマ(報告)

「地域リハビリテーション研修会～認知症患者を地域で支える～」

❖ **スポーツ傷害予防事業**

昨年度に引き続き、各地域でスポーツ傷害予防講座を実施予定です。主に一般の選手、指導者を対象としています。

◆昨年度実施された講座（報告）

• 尾張東ブロック

「中高齢者のスポーツ傷害予防のためのコンディショニングチェック、トレーニング方法」

• 尾張北部ブロック

「野球で起こりやすい障害 メディカルチェックとストレッチ紹介・投球フォーム練習」

• 名古屋東ブロック

「足関節捻挫の予防とリハビリテーション」

• 東三河ブロック

「よくある！スポーツ外傷について～医師の視点から～」

「知ってこ！スポーツのケガ予防～4種目に分かれて傷害予防対策～」

ランニング、テニス、サッカー、フットサル、室内競技（バレー、バスケ、ハンドボール）

◆高校野球サポート

毎年、愛知県高校野球連盟主催愛知県大会のメディカルサポートを行っています。

今年度も春季大会（5月）、夏季大会（7月）、秋季大会（10月）のメディカルサポートを実施予定です。

◆障害者スポーツサポート

12月13日（土）～14日（日）に日本障害者バドミントン日本選手権大会が名古屋市稲永スポーツセンターで開催されます。大会期間中、出場選手に対してコンディショニングサポートを実施します。夏頃に参加希望者を募り、事前に講習会を開催する予定です。追ってお知らせ致します。スポーツ現場での活動にご興味ある会員の方は、是非ご参加下さい。

社会局**ニュース編集部**

部長 安本 旭宏

この度、ニュース編集部は事務局から社会局へ移動することとなりました。引き続き、宜しくお申し上げます。

さて、今号のニュースが公益社団法人となつての最初のニュースになります。ニュースは引き続き年4回（5月、8月、11月、2月）発行いたしますので、各ブロックの活動報告、研修会案内、求人情報等の掲載に是非ご利用ください。

ブロック局

局長 小川 智也

<平成25年度ブロック局活動報告>

昨年度のブロック局全12ブロックにおける研修会・症例検討会を中心に報告いたします。

【名古屋北・西ブロック】

●研修会（合同開催）

平成25年7月14日（日）ウインクあいち

• 講演 13:30～15:00

テーマ「医療介護連携とゴール設定」
講師：張本浩平先生（合同会社 gene）

• シンポジウム 15:15～16:45

張本浩平先生（合同会社 gene）
梅田典宏先生（株式会社ジェネラス）
有馬征宏先生（株式会社トレイル 訪問看護ステーションこんばす）
池野倫弘先生（有限会社RK てっく訪問看護ステーション）

～参加者含めた座談形式～

参加者：会員64名、会員外4名

●研修会（合同開催）

平成25年10月13日（日）ウインクあいち

テーマ「慢性腎不全患者の理学療法に関する
up to date」

① 13:30～15:00：慢性腎不全患者の生体機能異常

② 15:15～16:45：慢性腎不全患者に対する
理学療法介入戦略とその効果

講師：河野健一先生（愛知医療学院短期大学 助教）
参加者：会員70名、会員外3名

【名古屋東ブロック】

●研修会

平成25年11月7日、14日（木）

トライデントスポーツ医療看護専門学校

テーマ「臨床に役立つ触診法」

講師：銭田 良博、山本 昌樹
（トライデントスポーツ医療看護専門学校）

第1回：「腰の触診」参加者12名、

第2回：「膝関節の触診」参加者14名

【名古屋東・南ブロック】

●研修会・症例検討会（合同開催）

平成26年1月12日（日）栄ガスビル

トライデントスポーツ医療看護専門学校

• 研修会特別講演 1 9:30～11:00

テーマ「脳卒中麻痺側への治療的学習」
講師：辻村外科病院 和田 陽介先生

- 症例検討会1 11:10～12:10
- 研修会特別講演2 13:30～15:00
テーマ「脳卒中麻痺側への治療的学習」
講師：辻村外科病院 和田 陽介先生
- 研修会特別講演1 9:30～11:00
- 研修会特別講演2 13:30～15:00
テーマ「明日から役に立つ臨床整形画像診断:下肢編」
講師：斎藤究先生(さいとう整形外科リウマチ科 院長)
- 症例検討会2 15:20～16:45
参加者75名

【尾張中部ブロック】

- 症例検討会
平成26年1月24日(金)
一宮市民病院、演題数8題、参加者72名

【尾張西部ブロック】

- 第1回症例検討会
平成25年6月12日(水)
津島リハビリテーション病院、19:00～20:30
演題数：2題、参加者：41名
- 第2回症例検討会
平成25年9月18日(水)
津島リハビリテーション病院、19:00～20:30
演題数：2題、参加者：51名
- 研修会
平成26年3月9日(日)
津島リハビリテーション病院、13:30～16:30
テーマ「軟部組織由来の関節可動域制限」
講師：鈴木重行先生(名古屋大学大学院)
参加者：66名

【尾張東部ブロック】

- 研修会
平成3月2日(日)
公立陶生病院、10:00～11:30
テーマ「脳卒中片麻痺の肩の痛みについて」
講師：河尻博幸先生(愛知医科大学病院)
参加者：会員34名、会員外12名

【尾張北部・東部ブロック】

- 研修会・症例検討会(合同開催)
平成25年12月7日(土) 中部大学、13:00～17:00
- 研修会 13:00～14:45
テーマ「リハビリテーション医療従事者のあり方～倫理的視点より～」
講師：米澤久幸先生(中部大学)
参加者：会員52名、会員外7名

- 症例検討会 15:00～17:00、演題数5題

【知多ブロック】

- 研修会・懇親会
平成25年7月6日(土) 半田市勤労福祉会館
テーマ「膝・肩スポーツ障害に対するクリニカルヒントと論文情報の見方」
講師：太田進先生(星城大学)
参加者：78名
 - 症例検討会
平成25年9月26日(木) 市立半田病院
演題数：3題、参加者61名
 - 症例検討会
平成25年11月28日(木) 市立半田病院
演題数：2題、参加者45名
 - 研修会
平成26年2月2日(日) アイブラザ半田
テーマ「関節について～臨床への応用～」
講師：坂口勇人先生(星城大学リハビリテーション学院)
参加者：64名
 - 症例検討会(予定)
平成26年3月27日(木) 市立半田病院
演題数：4題、参加者：数十名予定
- ### 【東三河ブロック】
- 研修会
平成25年9月21日(土)
豊川市民病院、13:00～14:30
テーマ「姿勢制御の基礎と臨床応用」
講師：富田秀仁先生(第二青い鳥学園)
参加者：会員44名、会員外4名
 - 症例検討会
平成26年1月26日(日)
豊橋市民病院、13:00～16:00
演題数：会員9題、会員外7題
参加者：会員62名、会員外29名
- ### 【西三河北部・南部ブロック】
- 研修会・症例検討会(合同開催)
平成26年2月16日(日) 岡崎市民病院
 - 研修会
テーマ「四肢外傷のX線像、運動療法のための読み方」
講師：浅野昭裕先生(碧南市民病院)
 - 症例検討会
演題数5題、参加者：82名
 - 研修会・症例検討会(合同開催) 予定
平成26年3月29日(土) 刈谷豊田総合病院

- 研修会
テーマ「神経疾患のCT・MRI像」
講師：丹羽央佳先生（刈谷豊田総合病院 神経内科部長）

- 症例検討会
演題数2題、参加者数十名

（平成26年3月13日現在）

ブロック局発足当初は活動内容に格差がありましたが、年々各地区ブロック長をはじめ運営委員を中心に事業開催が活発になっております。ブロックによっては研修会・症例検討会の複数開催実施している地区もあり、活動を通じ情報共有や地域連携などに繋がればと考えます。今年度も皆様多数のご参加お待ちしております。

特設委員会

災害対策委員会
委員長 西山 知佐

<災害対策研修会のお知らせ>

前回お知らせしました災害対策研修会を6月に開催します。

講師の水尻先生には災害時の職場管理、災害リハビリテーションの役割等について、清山先生には福島県での支援活動、小児のケア等についてお話いただく予定です。

- 日 時 平成26年6月8日（日） 9:30～12:30
- 会 場 鯉城ホール（伏見ライフプラザ5F
地下鉄 伏見駅、大須観音駅下車 徒歩7分）
- テーマ 「リハビリテーション領域における災害支援課題」
- 講 師 ・水尻 強志 医師
（公益財団法人宮城厚生協会 長町病院 院長）
「超高齢社会における大規模災害とリハビリテーション」
・清山 真琴 作業療法士
（ふくしま心のケアセンター）
「被災地でも『その人らしく』生きるためには」
- 対象者 医療・介護職あるいは医療・介護施設等で勤務されている方
- 参加費 無料（なお準備都合上、事前申込が必要です）
- 申し込み方法
下記の必要事項をご記入の上、メールでお申し込み下さい。

- ①氏名（ふりがな）、② 所属、③ 職種、
- ④ポイント取得希望の有無、
- ⑤ポイント取得希望の会員は会員番号、生年月日

- 申し込み・お問い合わせ先

E-mail : shinsai-apta@hotmail.co.jp

- 理学療法士の会員は、認定・専門の履修ポイントを取得できます。

（今年度より新人教育プログラムでのポイント取得は不可となります）

該当ポイント：7.教育管理理学療法専門分野 b.認定理学療法士（管理・運営）、d.専門理学療法士

未確定の部分がありますが、決まり次第ホームページ上でお知らせしますのでご確認下さい。お知り合いの方、職場の方にもお声かけいただけると幸いです。皆さまのご参加をお待ちしております。

前回もお知らせしましたが、有事の際に各地域の情報を収集し、他職種と連携しながら活動できる人材の育成を目的とした研修も行います。

今年度下半期を予定しておりますので、決まり次第お知らせします。今後とも本委員会活動に、ご理解ご協力の程よろしくご願ひ申し上げます。





NPO (特定非営利活動) 法人

愛知県理学療法学会だより

ホームページ <http://aichi-npopt.jp>

部局だより

生涯学習部

部長 伊藤 直樹

<生涯学習部症例検討会の報告>

3月16日(日)に藤田保健衛生大学におきまして生涯学習部主催の症例検討会を行いました。16題の発表を頂き、活発な議論が出来ました。その中で、特に優れた発表に対して表彰しました。今後も生涯学習部主催の症例検討会を開催いたしますので、積極的な参加をお待ちしております。

<受賞者>

- 御子柴 いのり先生 (愛知県済生会リハビリテーション病院)
脳梗塞左片麻痺を呈し立ち上がり動作獲得を目指した一症例
- 大野 真志先生 (藤田保健衛生大学病院)
多系統萎縮症の移動手段の検討
- 杉浦 友香里先生 (国立長寿医療研究センター)
パーキンソン病患者に対する足関節運動がバランス能力に及ぼす影響



3名の先生方おめでとうございます。ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

<新人教育プログラムに関するお問い合わせ>

NPO法人愛知県理学療法学会のHPの「お問い合わせ」に必要事項をご記入の上送信下さい。後日お返事いたします。

専門領域研究部

部長 村瀬 政信

<平成26年度専門領域研究部の活動について>

専門領域研究部では、昨年度に引き続き、今年度も「研究活動支援セミナー」、「研修会(2回)」、「専門・認定理学療法士取得相談会」を開催します。「研究活動支援セミナー」は8月頃、「研修会(2回)」は10月頃と12月頃、「専門・認定理学療法士取得相談会」は3月頃に開催する予定です。随時、県土会ニュースやNPO愛知県理学療法学会ホームページ (<http://www.aichi-npopt.jp>) で開催要項をお知らせいたしますので、是非ご参加ください。



理学療法学会発表への道

～ スライド作成から演題発表 ～

学術大会部 阿部 司

まず前回の補足をします。愛知県理学療法学会大会をはじめ、近年の学術大会の多くは演者との連絡にEメールを使用します。このメールアドレスが間違っていたり、届いたメールを演者が確認していなかったりすると、演者に連絡が取れず大会運営に支障をきたします。メールは演者が適宜確認しているアドレスを正しく連絡して下さい。

では今回はスライド作成から演題発表までを解説します。

1. スライド・ポスター作成と発表原稿の作成

スライド・ポスター作成も抄録と同様に、まずは作成要項を熟読しましょう。PC持ち込みの可否、PCのOS並びに作成ソフトの指定、枚数やデータ量制限、アニメーションや動画使用の可否などが明記されていますので遵守して下さい。スライドの形式不備は操作の遅延やフリーズの原因となり、大会進行の妨げとなりますのでご注意下さい。

作成のコツですが、まず抄録を見直して一番伝えたい点を明確にします。そして結論までの展開を意識しながら「はじめに」「対象」「方法」「結果」「考察」「まとめ」といった流れで作成します。発表時間が6～8分であればスライド枚数は10枚前後とし、スライド中の情報量(特に文字数)が多くなりすぎないようにします。

文字が目立つように背景を合わせ、文字を大きく文章は簡潔にします。「方法」「結果」は写真や図表を活用し、文章だけでなく視覚的に伝える工夫が重要です。「まとめ」は最後の1枚ですので発表の要点を短い文章で示します。

ポスター発表は口述発表と異なり発表前に閲覧する時間があることで、情報量が比較的多くなっても伝えることができます。「方法」「結果」により細かい説明を加えても良いでしょう。

スライドやポスターと並行して発表原稿を作成します。文字数は1分あたり280～300文字程度が無理なく読める目安です。スライドにない口頭のみ情報は極力少なく、スライドの内容に沿って説明すると分かりやすい発表になります。発表原稿ができたなら声に出して読みます。何度も読み込むことで前後のつながりや伝わりにくい点など修正点が分かってきます。他人に聞いてもらうことも良い方法です。修正を繰り返して何度も練習して下さい。

2. 学術大会当日～発表から質疑応答まで

演者は指定の時間内に受付を済ませます。ポスター発表であればポスターを掲示しましょう。後は自分のセッション開始前には次演者席で待機しておいて下さい。

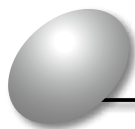
発表は聴衆の方を向いて大きな声で行います。時々、スライドと発表原稿にずれがないかを確認します。発表時間終了時には何らかの指示がありますので、その後は速やかに発表を終えて下さい。

発表後の質疑応答は聴衆の反応が直接確認できる場です。質問に対する自分の意見を明快に述べて下さい。説明はくどくならないように、まず答えを端的に述べてから説明を加えるとすっきりします。もし質問の内容が漠然としていれば「ご質問の趣旨は～でしょうか？」などと論点を確認することは決して失礼ではありません。たとえ返答しにくいことであっても無言になることは避けましょう。

以上2回にわたって学術大会発表への手順を紹介しました。次回の愛知県理学療法学会大会は平成27年3月1日に名古屋国際会議場で開催されます。本記事を読んでいただいた一人でも多くの方が発表に向けて準備を進めていただけることを期待いたします。

参考文献・図書

- 1) 小山信之：標準理学療法学 理学療法研究法第2版。内山 靖(編)。医学書院,東京,2006,pp.160-75.



愛知県士会・愛知県学会・協会主催の学会・研修会

◎第24回 愛知県理学療法学会

会 期：平成27年3月1日(日)
会 場：名古屋国際会議場
名古屋市熱田区熱田西町1番1号
TEL 052-683-7711
テーマ：「痛みと向きあう」
演題募集期間：平成26年10月下旬～11月上旬(予定)

担当ブロック：尾張ブロック

大会長 肥田 朋子 (名古屋学院大学)
準備委員長 赤木 充宏 (名古屋学院大学)
運営局長 岡崎 誉 (春日井市民病院)
学術局長 城 由起子 (名古屋学院大学)
事務局長 渡邊 晶規 (名古屋学院大学)
大会事務局 名古屋学院大学
リハビリテーション学部内
〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町1350
運営事務局 株式会社 オフィステイクワン
〒461-0004 名古屋市中区葵3-12-7
TEL：052-930-6145
E-mail：apta24@cs-oto.com

厚生労働省や医師による疫学調査から腰痛や肩こりなど慢性の痛みを自覚している国民が多く、その数も減少していない結果が示されています。これには痛みの評価・治療、痛みの捉え方、さらには教育など様々な要因が考えられますが、第24回愛知県理学療法学会では改めて「痛みと向きあい」、私たちにできることは何かを考えたいと思います。

詳細は、NPO法人愛知県理学療法学会ホームページ (<http://www.aichi-npopt.jp>) にて随時公開していきます。

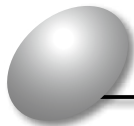
◎専門領域研究部 研究活動支援セミナーのお知らせ

日 時：平成26年8月中*
会 場：未定*
テーマ：「学会発表への道」
講 師：阿部司先生(愛知医科大学病院 理学療法士)
内 容：前回および今回(No.172およびNo.173)の県士会ニュースに掲載されました「学会発表への道」の内容について、講義および演習形式にてお話して頂きます。学会大会での発表をしてみたい方や興味がある方は、是非ご参加下さい。
参加費：1,000円(愛知県理学療法士会 非会員または休会者の場合5,000円)
定員数：30名(定員を超えた場合は、抽選で決定します。)
対象者：愛知県理学療法士会 会員・新人教育プログラム修了者向け
(新人教育プログラム未修了者、愛知県理学療法士会 非会員の方も申し込み可能ですが、抽選の優先順位は低くなります。)

申し込み方法：未定*
新人教育プログラム・履修ポイント：未定*
問い合わせ先：TEL：052-878-3711

相生山病院リハビリテーション科 村瀬政信
*5月上旬にNPO法人愛知県理学療法学会ホームページにて詳細をお知らせします。
NPO法人愛知県理学療法学会ホームページ
<http://www.aichi-npopt.jp>





その他の研修会

◎第2回ICUリハビリテーション研究会

※新人教育プログラム：なし、履修ポイント：なし

日 時：平成26年6月28日(土)

13:30～16:00

場 所：名古屋大学医学部附属病院

中央診療棟3階講堂

内 容：実践報告『ICUにおける早期離床の実践』

特別講演『ICUにおける栄養管理の基礎』

講 師：西田 修 先生(藤田保健衛生大学医学部

麻酔・侵襲制御医学講座 主任教授)

参加費：500円

申し込み：不要

主 催：ICUリハビリテーション研究会

問い合わせ先：名古屋大学医学部附属病院

リハビリテーション部

小林 聖典

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地

TEL 052-744-2687

FAX 052-744-2688

加ご希望の方は当日会場まで直接お越し下さい

締 切：特にありません

主 催：愛知県糖尿病療養指導研究会

共 催：社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会

後 援：一般社団法人 愛知県理学療法士会

その他：

○糖尿病療養指導士の方に対しては、認定更新のための研修会として2群1単位が認定される予定です。

○本研修会は、参加により(公社)日本理学療法士協会専門理学療法士ならびに認定理学療法士(代謝)資格取得および更新に関わる履修ポイントとして、5ポイント(大項目2-6)が取得できる予定です(現在申請中)。参加時にPT協会会員番号が必要ですのでご準備ください。

○問合せ先：愛知県糖尿病療養指導研究会事務局
医療法人社団喜峰会東海記念病院 藍川智津
(mail:aichicde2003@yahoo.co.jp)、または
医療法人三仁会あさひ病院リハビリテーション科
横地正裕
(TEL:0568-85-0077) FAX 052-744-2688

◎第50回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

日 時：平成26年6月22日(日)

13:00～16:20(開場12:30)

会 場：名古屋大学医学部附属病院

中央診療棟3階講堂(名古屋市昭和区鶴舞

65:JR中央線「鶴舞」駅を下車し、名大病

院口改札を出て徒歩約5分)

テーマ：妊娠糖尿病を学ぶ

内 容：講演1「妊娠糖尿病-健康への第一歩-」

講演2「妊娠と糖尿病をもつ女性への接し方」

講演3「産科からみた妊娠糖尿病患者への

療養指導」

特別講演「妊娠糖尿病について」

講 師：講演1 トヨタ記念病院看護師 小澤由美

講演2 春日井市民病院看護師 谷口美和子

講演3 春日井市民病院助産師 山田みちよ

特別講演 春日井市民病院副院長・医療連携室長・

栄養管理室長 佐々木洋光

受講費：愛知県糖尿病療養指導研究会会員

無料 その他参加者 1,000円

定 員：200名

申込先：事前に申し込みの必要はありませんので、参

◎足部の解剖とバイオメカニクス

日 時：平成26年7月13日(日)

内 容： 9:30～11:00 足部の解剖1(荒川)

11:15～12:45 足部の解剖2(荒川)

12:45～14:00 休憩

14:00～15:30 足部のバイオメカニクス(工藤)

15:45～16:30 症例供覧

本勉強会は、基礎的研究と臨床理学療法学の架け橋となる勉強会を目指しています。

今回は足部をテーマに、解剖学、バイオメカニクスの観点からの講義と、その内容をどう臨床に活かすかを、症例提示も交えて考えたいと思います。

講 師：荒川高光 先生(神戸大学医学部保健学科)

工藤慎太郎 先生(森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科)

会 場：国際医学技術専門学校4階講堂

受講費：10,000円

定 員：90名程度

申込先：mkptm@yahoo.co.jp 宛に、件名を“足部の解剖とバイオメカニクス参加希望”とし、

①氏名 ②所属 ③職種 ④経験年数 ⑤E-mail
⑥電話番号を記載の上、ご連絡下さい。

主催：形態学と運動学に基づく理学療法勉強会
(MKPTM)

◎合同会社 gene 主催セミナー①

『脳画像のリハビリテーションへの活用 -中枢神経疾患による障害を理解するための脳解剖学知識の整理-』

日時：平成26年6月22日(日)
10:00～16:00(受付9:30～)

内容：脳画像を臨床で活かすためには、脳解剖学の基礎ならびに脳画像の基礎を理解し、その上で脳画像を読む必要がある。
今回は脳解剖学的基礎知識ならびに脳画像の基礎知識を整理し、自験例を提示して、臨床で脳画像を活用するための礎を構築する事を目標とする。

講師：阿部 浩明 先生
(財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科総括主任・理学療法士)

場所：電気文化会館 5階 イベントホール
(名古屋市中区栄2-2-5)

定員：120名

締切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)
※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー②

『学習理論を基盤とした積極的上肢訓練 -課題指向型訓練とTransfer package-』

日時：平成26年6月29日(日)
10:00～16:00(受付9:30～)

内容：上肢に対するニューロリハにおいて重要な因子は、機能的な訓練に完結するのではなく、治療後の生活において常時使える「手」を作り「麻痺手の行動を変容」することで、長期的な対象者の麻痺手の機能や生活を見据えた治療が本質です。本講義では、治療コンセプトを学んでいただき、皆様の普段の臨床の質の向上に少しでも寄与できることを目標としています。

講師：竹林 崇 先生(兵庫医科大学病院 リハビリテーション部 副主任技士・作業療法士)

場所：名古屋市中小企業振興会館4階 第7会議室
(名古屋市千種区吹上2-6-3)

定員：80名

締切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)
※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー③

『痛みの脳内機構とニューロリハビリテーション』

日時：平成26年7月6日(日)
10:00～16:00(受付9:30～)

内容：島皮質、前帯状回、内側前頭前野は疼痛の情動的側面に関与する。現に、社会的痛み(心の痛み)を感じた場合にも活性化する。この領域が過活動を起こすと、それを制御する背外側前頭前野の機能不全につながり、うつ等の精神症状を引き起こし、慢性化が継続するといった悪循環が考察されている。今回は痛みおよび鎮痛の脳内機構を解説し、神経科学に基づいた痛みのニューロリハビリテーションの具体例を示して行く。

講師：森岡 周 先生(畿央大学 健康科学部 理学療法学科 教授・理学療法士)

場所：名古屋市中小企業振興会館7階 メインホール
(名古屋市千種区吹上2-6-3)

定員：250名

締切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)
※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー④

『低ADL・寝たきりの人のリハビリテーションの基本戦略』

日時：平成26年7月27日(日)
10:00～16:00(受付9:30～)

内容：低ADL・寝たきりの人に対して、意味のある理学療法と作業療法、引いてはリハビリテー

ションをどのように考えるべきなのか、その基本的戦略と意味について講義を行う。

- ・本人の全人間的復権とは？
- ・訪問現場における家族の介護負担感
- ・家族のニーズ
- ・ポジショニング
- ・活動性の向上
- ・循環・呼吸・嚥下の状態
- ・四肢の可動域制限
- ・進行性疾患における予後予測
- ・ケアスタッフ・看護師など他職種との連携
- ・モチベーションコントロール

講 師：張本 浩平(合同会社 gene 代表・理学療法士)
場 所：名古屋市中小企業振興会館4階 第7会議室
(名古屋市中種区吹上2-6-3)

定 員：80名

締 切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑤

『リハスタッフのための認知症のある方への対応と評価』

日 時：平成26年8月3日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：認知症は単一の疾患名ではなく状態像の総称であることや、疾患に起因する障害だけが表面化するのではなく、残存能力や特性によってさまざまな現れ方をするために臨床の場で困惑を抱えるセラピストも少なくないと思います。

今回は、障害だけではなく能力や特性、状況を含めた関係性の中で総体的に把握し対応するというとはどういうことなのか、求められる視点や考え方、具体的な方法論についてさまざまな事例を通してご説明いたします。

講 師：佐藤 良枝 先生(公益財団法人積善会曾我病院・作業療法士、バリテーションワーカー)

場 所：名古屋市中小企業振興会館4階 第7会議室
(名古屋市中種区吹上2-6-3)

定 員：80名

締 切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑥

『日常動作の再学習(再構築)』

日 時：平成26年8月10日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：問題の多い背臥位の視診、触診に基づいた姿勢分析と動作分析から、問題の原因を推論する練習をするとともに解決策も検討していきたいと考えています。最後に、表在筋の大きな筋を姿勢維持や呼吸の補助から開放し、自由度の高い運動が可能な身体を再構築するところまで体験したいと考えています。

講 師：富田 昌夫 先生(藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科 客員教授)

場 所：名古屋国際会議場4号館3階 会議室
431+432(名古屋市中種区熱田西町1-1)

定 員：80名

締 切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑦

『神経科学から考えるパーキンソン病のリハビリテーション』

日 時：平成26年8月17日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：最新の神経科学の知見に基づき、患者の呈する様々な症状の背景にある病態をどのように捉えるか解説する。リハビリテーションの主要な治療対象となる運動機能障害に対して、残存すると考えられる神経機構を利用してどのように治療をデザインしていくのかについて、無動に対する介入戦略などを例に挙げながら述べる。

さらに、緩徐進行性疾患におけるリハビリテーションの効果の捉え方、病期に応じた治療の考え方について述べ、疾患進行抑制効

果の可能性などについても触れる。

講 師：岡田 洋平 先生（畿央大学 健康科学部 理学療法学科 助教・理学療法士）

場 所：今池ガスビル7階 B会議室
（愛知県名古屋市千種区今池1-8-8）

定 員：60名

締 切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円（税込）

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
（www.gene-llc.jp）よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑧

『脳卒中片麻痺患者の歩行のみかた』

日 時：平成26年8月24日（日）
10:00～16:00（受付9:30～）

内 容：脳卒中患者の歩行をどのような視点でみるか、問い直してみたいと考えています。
内反尖足の原因をどう考えるか、内反足はなぜ起こるのか、膝のロッキングをコントロールするためにはどうすればよいのか、それはなぜか、麻痺側の骨盤が後退して股関節屈曲位で歩くのはなぜか、どうすればよいのか等々、提案してみたいと考えています。

脳のこと、筋の特性のこと、関節構造のこと、装具のこと、その他の要因についても目を向けて脳卒中患者の歩行を考え、その学習と関わり方について解説します。

講 師：吉尾 雅春 先生（千里リハビリテーション病院 副院長・理学療法士）

場 所：名古屋市中心企業振興会館7階 メインホール
（名古屋市千種区吹上2-6-3）

定 員：250名

締 切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円（税込）

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
（www.gene-llc.jp）よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑨

『pusher 現象の背景と具体的アプローチ～ pusher 現象改善のヒント』

日 時：平成26年8月31日（日）

10:00～16:00（受付9:30～）

内 容：脳損傷後のpusher現象は、多くのセラピストが経験する、理解しがたく、最も対応に難渋する現象の一つです。リハビリテーションに従事するセラピストならば、pusher現象を呈する症例を担当した際、一瞬で、“何か違う”事に気がつきます。しかし、それがどのような背景により出現しているのか、また、どのように対処すべきなのか、はっきりと説明できるセラピストは少ないかもしれません。本セミナーでは古い考え方では律しきれないこの現象について、現時点で考えられるこの現象を改善するためのアプローチについて紹介します。

講 師：阿部 浩明 先生（財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科総括主任・理学療法士）

場 所：名古屋国際会議場1号館4階 会議室141+142（名古屋市熱田区熱田西町1-1）

定 員：150名

締 切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円（税込）

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
（www.gene-llc.jp）よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑩

『前腕筋の解剖学的知識と触診』

日 時：平成26年9月7日（日）
10:00～16:00（受付9:30～）

内 容：前腕の筋群は、肘関節～手関節、または遠位指節間関節までにわたる多関節筋であり、それぞれの関節の動きに複雑に関与している。その筋群の走行は複雑であり、体表面からの触診には技術を必要とする。前腕や手部の理学療法や作業療法を進めていく上で、個々の筋にアプローチするためには解剖学的知識が必須となる。今回は、座学にて前腕の基本的な解剖学的知識を述べるとともに、実技にてID触診術・IDストレッチの技術をお伝えしたい。

講 師：鈴木 重行 先生（名古屋大学 医学部保健学科 理学療法学専攻 教授・理学療法士）

場 所：今池ガスビル7階 B会議室

(愛知県名古屋市千種区今池1-8-8)

定員：50名

締切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

◎合同会社 gene 主催セミナー⑪

『脳卒中の下肢装具～病態に対応した装具の選定と使い方』

日時：平成26年9月15日(月祝)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：長下肢装具は特に、装具の装着そのものが治療効果を生むものではなく、装具の機能を利用し、どのような運動を促すかで発揮されるパフォーマンスが変わると言える。義肢装具士からの視点も交え、長下肢装具を使用することの意義、可能性や装具の機能を生かすための実際の操作方法について考えていきたい。

講師：増田 知子 先生

(千里リハビリテーション病院・理学療法士)

南 祐次 先生

(川村義肢株式会社・義肢装具士)

場所：名古屋市中企業振興会館4階 第3会議室

(名古屋市千種区吹上2-6-3)

定員：60名

締切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。

・鎮痛剤について

・鎮痛補助薬としての抗鬱薬・抗不安薬

・降圧剤について

・経口糖尿病薬について

・血液凝固抑制剤について

以上の薬剤における作用機序をその病態と絡めて解説する。

講師：田宮 真一 先生

(名古屋第二赤十字病院・薬剤師)

場所：名古屋市中企業振興会館4階 第7会議室

(名古屋市千種区吹上2-6-3)

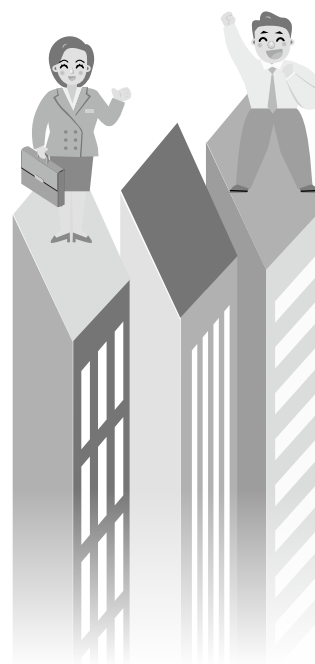
定員：80名

締切：定員になり次第締め切り

■参加費：各12,500円(税込)

※当日会場にてお支払い下さい。

■詳細・お申込は 合同会社 gene ホームページ
(www.gene-llc.jp) よりお願い致します。



◎合同会社 gene 主催セミナー⑫

『リハスタッフのための薬剤の基礎知識』

日時：平成26年9月15日(月祝)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：

・処方箋の読み方(ドイツ式・欧米式)

・薬剤に関する略語・薬の調べ方

・骨粗鬆症薬について

公益社団法人愛知県理学療法士会ニュースに関するお詫びのご案内

公益社団法人愛知県理学療法士会
ニュース編集部 部長 安本旭宏

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年2月1日発行の愛知県理学療法士会ニュースNo.172の中に誤りがございました。つきましては、謹んでお詫びを申し上げますとともに下記の通り訂正をさせていただきます。

本誌) 15ページ

研修部の部局だよりの記事につきまして、元々は依頼を受けていない記事を誤って掲載してしまいました。本来は掲載する予定ではございませんでした。

以上、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

<会員の皆様へ事務局からのお知らせ>

1月1日より、所属施設の異動、改姓、県外異動、復会、休会、退会等の手続きは紙申請ではなくマイページからウェブでできるようになりました。

マイページのログインID・パスワードをご確認ください。

会員証はお手元にありますか。

新人教育プログラム・研修会・学会等に参加される場合に必要です。

また、平成26年度の会費は楽天カードにて5月27日の引き落としを予定しております。楽天カードを作成していない方はマイページからお手続きください。

マイページ、楽天カード、会員証の再発行等に関するお問い合わせは日本理学療法士協会
電話03-6804-1421 までお願いいたします。

会 員 動 向

(平成26年1月16日～平成26年2月28日)

総会員数 4590名(2月28日現在)

施設会員	施設会員 3961名 (所属施設 734施設)	
自宅会員	自宅会員 629名	
新入会	2名	
県外異動	(他県→愛知県)	13名
県外異動	(愛知県→他県)	7名
復会	2名	
休会	20名	
退会	11名	

◀ 求人情報 ▶

整形外科 鳴子クリニック

- 所在地 〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町1-44-2
- 電話番号 052-895-7651
- 募集人数 1～2名
- 希望条件 常勤
- 担当者 西崎、管理部

肩の治療室そら

- 所在地 〒491-0053 愛知県一宮市今伊勢町本神戸高野
- 電話番号 0586-85-7989 土日祝も可。夜11時まで電話OK
- 募集人数 4名
- 希望条件 隔週の土曜または日曜に5～6時間働ける方。
将来独立したいけどちょっと不安に感じている方。
時給1,000円～4,000円(能力別)
- 担当者 山田邦弘(やまだくにひろ)

株式会社メディカルケア

- 勤務地 訪問看護ステーションよつ葉北 (名古屋市北区若鶴町)
訪問看護ステーションよつ葉江南 (江南市)
訪問看護ステーションよつ葉こまき (小牧市新町)
- 所在地 〒483-8334 江南市前飛保町緑ヶ丘83番地
- 電話番号 0587-51-0211
- 募集人数 2～3名
- 希望条件 常勤(パート応相談)
- 担当者 介護事業部 山本雅満

春日井市医師会訪問看護ステーション

- 所在地 〒486-0913 春日井市柏原町5-387
- 電話番号 0568-82-8780
- 募集人数 1名
- 希望条件 非常勤
- 担当者 管理者 山崎・事務 西尾

◀ 求人情報 ▶

いけだ整形外科

- 所在地 〒465-0051 名古屋市名東区社が丘2-701
- 電話番号 052-703-5311
- 募集人数 若干名
- 希望条件 常勤・非常勤問わず
- 担当者 池田 博厚(副院長)

訪問看護ステーション仁 春日井

- 所在地 春日井 〒486-0851 春日井市篠木町5丁目24番地1 伊藤信ビル1階
岡 崎 〒444-0806 岡崎市緑丘2丁目6-4 ACCESS STREET 501
- 電話番号 春日井 Tel.0568-82-8220
岡 崎 Tel.0564-64-3900
- 募集人数 若干名
- 希望条件 常勤・非常勤
- 担当者 合同会社gene本社 Tel.052-911-2800 (担当:北澤)



Memo

A large rectangular area enclosed by a dotted grey border, intended for writing a memo.

公益社団法人
愛知県理学療法士会ニュース

No.173

平成 26 年 (2014) 5 月 1 日 発行

発行所 愛知県理学療法士会

発行者 鳥山喜之

編集者 安本旭宏

事務局 〒461-0001
名古屋市東区泉1-12-35 1091ビル9F
TEL・FAX (052) 972-6295
〔HP〕 <http://www.aichi-pt.jp>
(携帯電話からも閲覧できます)
e-mail:office@aichi-pt.jp

印刷 不二印刷工業株式会社
